

アクセス方法
 <電車>
 富士急行線「河口湖駅」もしくは「富士山駅」下車→車、又はタクシー→富士ヶ嶺地区(約30分)
 ※駅から富士ヶ嶺地区へのバスなどはありません。
 <車>
 中央自動車道 河口湖IC→国道139号線(約30分)
 東名高速道路 御殿場IC→東富士五湖道路→富士吉田IC→国道139号線(約30分)

memo



小さな旅

～こころのふるさとをみつめて～

コブック vol. 96

富士に 開拓の心
 ～山梨県 富士河口湖町 富士ヶ嶺～

2013年4月28日(日)放送

小さな旅 ホームページ
<http://nhk.jp/kotabi>



地区のほぼ真ん中にある家畜診療所。昭和34年から獣医師が駐在し、地域の酪農を支えてきました。現在は、2人の獣医師で、乳牛2400頭、肉牛1200頭、豚5000頭、馬16頭を担当しています。去年8月に赴任した獣医師を育て上げた開拓一世です。弱音を吐くことなく「ここで生き抜くんだ」と決意を買い、働き続けた操さんに“生きる力”を教えてもらったという瑞代さん。操さんと一緒に増やしてきた牛たちを大切に育てています。

地域を支える家畜診療所

旅の見どころ 3



富士ヶ嶺で50年間、酪農を営む青柳瑞代さん(70歳)。80頭の乳牛を飼っています。瑞代さんに酪農の仕事が教えてくれたのは、15年前に亡くなった義母・操(みさお)さん。旧満州で夫と死別し帰国。女手一つで入植し、3人の子どもを育て上げた開拓一世です。弱音を吐くことなく「ここで生き抜くんだ」と決意を買い、働き続けた操さんに“生きる力”を教えてもらったという瑞代さん。操さんと一緒に増やしてきた牛たちを大切に育てています。

開拓の心 受け継いで

旅の見どころ 2

旅の見どころ 1

戦後開拓の酪農地・富士ヶ嶺

富士の西に広がる酪農地・富士ヶ嶺。年間平均気温11度と涼しい気候をいかし43軒が4900頭の牛を飼っています。のどかな牧場の風景が広がる富士ヶ嶺ですが、開拓は苦難の連続でした。電気や水道はおろか家も道路もない一面の原野。特に水不足は厳しく、ドラム缶にためた雨水が尽きると、湧水まで何キロも歩くしかありませんでした。人々の心の支えは間近にそびえる富士。開拓を見守ってきた頂は、入植から68年たった今も、変わらずそこにあります。

